

新潟三越伊勢丹支部 第10期（2022・2023年度）の振り返り

【 第10期後半年度（2023年度）のトピックス 】

- ・市況の動向：2024年1月1日に能登半島地震発生。従業員も被災、2日の初商は午後からのスタートとなった。2024年3月末に新潟駅に大型商業施設開業。地階フロアを中心に売上への影響も感じられた。2024年7月には佐渡島世界遺産登録。
- ・事業会社の動向：2023年度は「高感度上質」「個客とのつながり」戦略を具現化すべく、カテゴリースペシャリストの増員や外商セールスの首都圏駐在を実施。過去最高の営業利益10億円を達成すべく取り組んだが、8億円の留まる結果となった。
- ・支部の動向：2024年3月に支部として初めての中期計画となる「労働福祉ビジョン」を策定。今後の労使協議の指標を明確にすることができた。

【 第10期運動方針の考え方 】 ※第10期運動方針再掲

- ・テーマ：仕組みと意識の両面から変革し、力を合わせて未来の新潟三越伊勢丹支部の礎を築く1年とする
- 「仕組みと意識の両面からの変革」：仕組みと意識の両側面から、必要かつ効果的な変革を促すことで成果を最大化する
- 「力を合わせて」：新潟三越伊勢丹支部が一体となるため、立場を超えて相互理解・協力しあえる関係を築く
- 「未来の支部の礎を築く」：支部における課題を丁寧に紐解き、組合活動を通じて将来の発展につなげる

【 活動の振り返り 】

全体の振り返り

- ・VOICEサイクル：経営懇話会を軸に、「聴く」「話し合う」「伝える」「知らせる」のサイクルを回すことを愚直に実行。対話から課題の共有、メンバーへの広報につなげていった。
- ・組織運営：兼任役員との取組を進めることで、より多くのメンバーから幅広い意見を集約し、具体的な活動につなげる必要があったが、組織・運営の整備ができず、十分な実現には至らなかった。

◎：できたこと	△：やりきれなかったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・ 労働福祉ビジョンの策定 ・ 経営懇話会への執行部全体での取り組み ・ 動画視聴形式のVOICE実施 ・ デジタルツールの活用（LINE・HP） ・ 支部ユニオンスクールの開催 ・ C-プランの実施 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本給・賞与のバランスなど人事賃金制度の大幅改定 ・ 自由闊達な意見交換の場には出来なかった ・ SS、エルダーなど新たな対象者VOICE ・ Viva Engageなどでの多様な組合役員の発信 ・ 地域への貢献活動 ・ 40周年記念講演事業 ・

【 第10期後半年度（2023年度）支部活動費の執行について 】

予 算	実 績	執行率
3,700,000円	2,673,501円	72.26%
<ul style="list-style-type: none"> ・ 当初計画で見込んでいた「議案書の印刷」や、「広報誌の製作」をデジタル化・効率化の観点から見直した。結果的に議案書の印刷費250,000円、広報費毎月約300,000円の圧縮となった。 ・ 上記を除く予算執行率は84%、約477,000円の未執行。 ・ 今後は予算策定時に具体的な活動内容・日程まで詰めることで、実行性の高い予算策定とする。 		

<第10期運動方針の考え方>

2028支部ビジョン

「安心して働くことのできる職場環境」が実現されている状態

みんなで「ありたい姿」を
実現しよう！

重点取組

方向性

VOICE

もっと新しい切り口で、幅広く

広報

もっとわかりやすく、タイムリーに

事業系

もっと楽しく、ためになる

新潟三越伊勢丹支部 第11期（2024・2025年度）運動方針（案）

【取り巻く環境】

- ・ 第11期：2024年10月～2026年9月
- ・ 業界：地方中心に百貨店業態は苦戦傾向。インバウンド・富裕層の動向も地域格差あり、新潟においては恩恵は限定的。
- ・ 経営：2025年度からの新中期経営計画に向けて変革スピードを上げていくことが想定される。
- ・ 営業：館業から接客業への転換を進めるため、サークル・コンシェルジュ・アテンダント・首都圏駐在の活性化を推進。

【重点取り組み（具体的な活動）】 ※（）内は支部内の担当名称

現場活動（①支部VOICE担当）
<p>〈VOICE活動の拡大〉</p> <p>「支部VOICE担当」を設置し、VOICE活動の対象・テーマをこれまで以上に拡大し、メンバーの声を細大漏らさず聞き取る。</p> <p>〈メンバーに身近に感じてもらう仕組みの構築〉</p> <p>各種活動において、メンバーにとってより身近に感じられる兼任役員からの声掛けを強化し、参加率の向上につなげる。</p>
広報活動（②支部広報担当）
<p>〈身近な情報発信〉</p> <p>「支部広報担当」を設置し、みんなで情報発信に取り組むことで、組合活動を身近に感じてもらう。</p> <p>〈デジタルツールの積極活用〉</p> <p>よりタイムリーな情報発信を実現するため、デジタルツールを用いた情報発信を強化する。</p>
レク教育・社会貢献活動（③支部事業系担当）
<p>〈従業員相互交流の促進〉</p> <p>「支部事業系担当」を設置し、定期的なレクリエーション・教育活動を実施することで、メンバー間の交流促進につなげる。</p> <p>〈メンバーニーズの把握・具現化〉</p> <p>兼任役員・メンバーへのヒアリングを通じて、どんな活動を望んでいるのか確認し、満足度の向上につなげる。</p>
労働福祉活動
<p>〈賞与制度〉</p> <p>安定性とわかりやすさを兼ね備えた新たな仕組みを構築し、業績達成のモチベーションアップにつなげる。</p> <p>〈本給制度〉</p> <p>より柔軟なキャリア構築をサポートできる制度を構築し、個々人の成長意欲促進を目指す。</p>
経営対策活動（支部執行部全員）
<p>〈経営懇話会〉</p> <p>議題設定からゼロベースで見直し、労使ともに納得性の高い意思疎通を図る。</p> <p>〈提言力強化〉</p> <p>積極的にVOICE活動を実施し、集約した意見を基に、建設的で実効性のある提言を行う。</p>

【第11期前半年度（2024年度）支部活動費予算について】

予 算	前期実績	前期比
3,000,000円	2,673,501円	112.2%
<ul style="list-style-type: none"> ・ ポイント：予算策定時点で内容・開催時期を支部承認の上決定することで精度の高い予算策定を実現する。 ・ 「各支部が垣根を超える」ための他支部との合同執行委員会や、新たなVOICE活動など取組の幅を広げていく。 		